

## 横浜市から奨励金がもらえる資源集団回収を活用しよう！

資源集団回収とは、自治会や町内会などの市民団体が、登録業者(回収業者)と契約して資源物(紙類・布類・金属類・びん類)の回収を行う取引です。回収量に応じて横浜市から奨励金が交付されるのが特徴です。

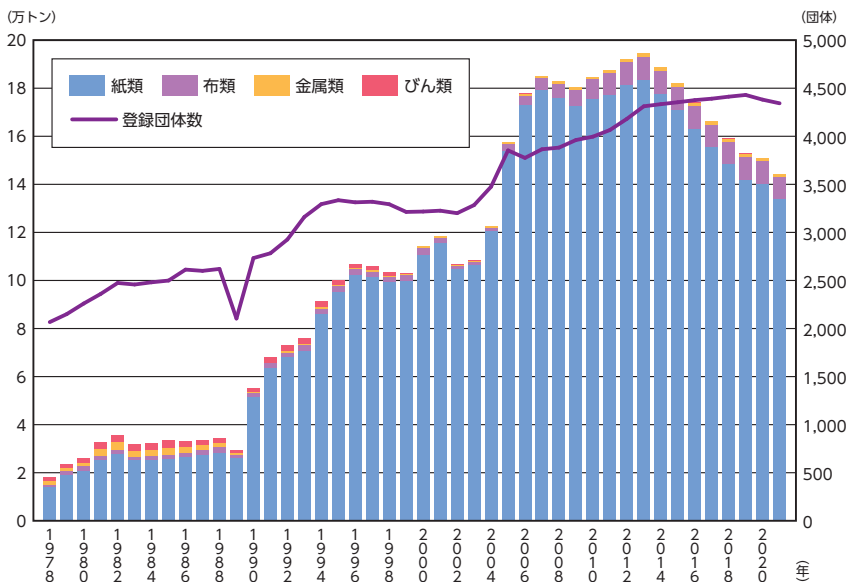
回収する資源物の品目や回収日、回収場所などは、契約する回収業者と取り決めることになります。横浜市が委託しているわけではありませんので、自治会・町内会が直接、回収業者と相談・交渉することになります。回収業者によって扱う品目が異なることがあり、また、右下の表「資源集団回収の回収品目」に記載されているもの以外は、横浜市の奨励金の対象にならないなど、注意が必要です。なお、現在の奨励金は、品目に関係なく回収量1kgにつき3円となっています。

右のグラフを見るとわかるように、資源集団回収を実施している市民団体は、ここ数年緩やかに増加していますが、回収量は2013年以降、減少傾向にあります。資源集団回収を行うメリットは、左下の表のようになります。今後より一層、資源集団回収の活用と分別のご協力をお願いします。

### 資源集団回収の様子



### 資源集団回収の回収量と団体数の推移



(出展：横浜市資源循環局)

### 資源集団回収の4つのメリット

- ① 登録した地域団体への奨励金が活動費として活用できる。
- ② 集団回収を通じて地域コミュニティの形成が促進できる。
- ③ 横浜市の車両・人員の負担が不要になり、財政負担が削減できる。
- ④ 回収業者への奨励金により地域経済が活性化される。

### 資源集団回収の回収品目

紙類 (新聞紙、段ボール、雑誌、紙パック、その他の紙)

布類 (衣類、下着、ハンカチ・タオル、毛布等)

金属類 (食料用・飲料用アルミ缶、食料用・飲料用スチール缶)

びん類 (食料用・飲料用リターナブルびん、雑びん、カレット)

# 家庭から排出される資源物の リサイクルを支える4分野の職人たち

横浜市のSDGsの達成や脱炭素社会に向けた取り組みのひとつとして環境負荷の低減と循環型社会の実現があります。家庭から出る資源物を適正にリサイクルすることもそのひとつです。今回は、横浜市が取り組む資源リサイクルを皆さんの身近で支えている4分野の職業についてご紹介します。

取材協力：有限会社ビッグサービス、ナカノ株式会社、有限会社マルニ商店、横浜アルコ株式会社

## 品目を見分けながら高速で回収する「古紙」リサイクル職人

資源集団回収など出る新聞や雑誌、ダンボールなどの古紙類を回収し、資源リサイクルの一端を担っているのが古紙リサイクル業者です。資源集団回収で回収される資源物は、年間14万トン以上あり、古紙類はその9割を占めています。大量の古紙類を毎日回収するためには、迅速かつ正確な回収技術が必要になります。

古紙回収業者の特技のひとつは、古紙をトラックに投げ込むように素早く積み込みながら、きちんと新聞、雑誌、段ボールに選別することです。品目ごとにおろす場所が異なるため、一瞬で積み分けられないと一人前にはなれません。また、新聞の束を持ち上げた時、中に異物が混入しているかも判断します。回収袋に入って中身が見えない新聞は、束の大きさと重さを体で覚えており、達人は雑誌が1冊混入しただけでも察知できるそうです。

1つの回収場所にかける時間はわずか3分ほど。その短時間に古紙類を選別しながらトラックに積み込み、

回収場所をきれいに片づけて次に向かいます。1日にトラック1台が担当するのは150～200カ所。それを積み残しなくすべて回収するために、今日も横浜市内を縦横無尽に走り回っているのです。



## 280種類の布を瞬時に選別する「古布」のリサイクル職人

古布や古着をリサイクルしているのが故繊維リサイクル業者です。古布や古着のリサイクルには、「中古衣料」として利用する方法、裁断して汚れなどをぬぐう「ウエス」として利用する方法、砕いて綿状の「反毛<sup>はんもう</sup>」にして、も



う一度糸にして利用する方法があります。

古布や古着は、最初に選別する必要があります。取材した工場では、おおまかに①衣類以外のものを取り除く、②春夏秋冬物に選別、③シャツとそれ以外に選別、④シャツは種類ごとに選別、⑤シャツ以外は、ズボン、スカート、上着、子ども服に選別、⑥子供服はシャツ、上着、ズボンなどに分け、さらに素材別にも選別していくと最終的な分類は約280種類にもなるそうです。

選別作業は1日10トン、約5万点の衣類を処理しており、1人当たり約4500点を担当しています。計算すると1点の選別時間は約6.4秒となり、手にした瞬間に素材や形状、汚れなどを判断していることになります。

日本の中古衣料は世界中から清潔でファッショナブルと高く評価されています。しかし、その衣類をリサイクルする現場では膨大な量に圧倒されながらも、選別に取り組む故繊維リサイクル業の職人の活躍があるのです。



## 機械より素早く色選別をする 「びん」のリサイクル職人

びんには、使用後に洗浄して中身を詰め直して再使用する「リターナブルびん」と、再使用しない前提で製造され、回収後に砕いてカレット(ガラス屑)にしてびんの原料にする「ワンウェイびん」の2つがあります。それぞれの専門業者があり、リターナブルびんを扱う業者を「びん商」、びんをカレットにして再資源化する業者を「カレット商」と言います。

どちらのびんのリサイクル業者も、回収後にびんの種類や色ごとに選別作業を行います。選別は機械や手作業で行われますが、達人になると手作業でも機械より早く選別することができるそうです。取材したびん商では、1980年代のびんの使用量が全盛の頃は、1日にビールケース2000ケース、4万本を回収していたそうです。

リターナブルびんはプラスチック容器や紙容器と比較して非常に環境負荷が少ない容器です。しかし、最近は、リターナブルびんだけでなく、ガラスびんそのものを使用した製品が少なくなり、びんのリサイクル業者も減少が続いています。それでも社会が必要とする限り、びんのリユース、リサイクルシステムを維持することが使命であると考え、事業に取り組んでいます。

## 色と重さと手触りで目利きする 「金属」のリサイクル職人

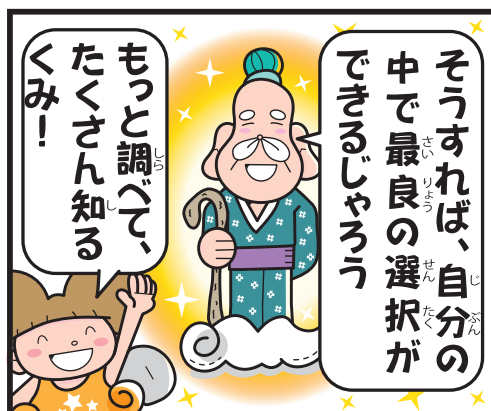
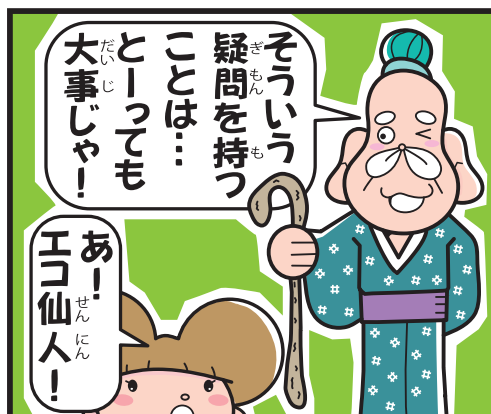
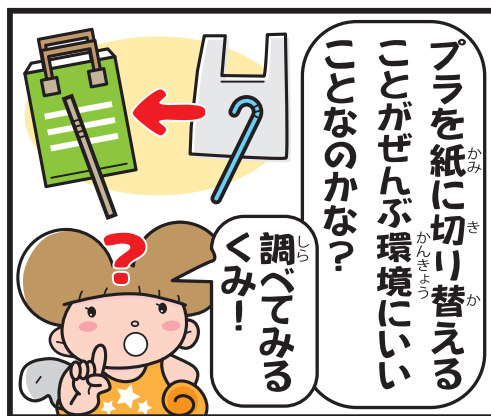
金属のリサイクル業は、主に鉄鋼を扱う「鉄リサイクル業」と、鉄以外の金属を扱う「非鉄金属リサイクル業」があります。国内で生産される金属の9割以上が鉄鋼製品ということもあり、鉄と非鉄の2つに分けられているのです。

金属のリサイクル業者は、家庭から出る飲料用のスチール缶やアルミ缶もリサイクルしますが、それらがメインではありません。鉄リサイクル業が主に扱うのは、工場で発生する端切れや削りかす、ビルや工場を解体したときに出る鉄骨や鉄筋、さらに廃棄された船や電車、自動車、家電などです。非鉄金属リサイクル業は工場から出る端切れや削りかす以外に、建造物を解体したときに出るアルミサッシ、電線、ベランダの手すり、浴槽やシンク、水道の蛇口などをリサイクルしています。

取材した非鉄金属リサイクル業者では、地域貢献を考えて、他社では扱



わない「一般持ち込み」を受け入れているそうです。その場で金属を査定する持ち込みは、知識と経験による判断が重要です。色や重さなどから金属や合金の種類を推定するのですが、難しい目利きを正しく査定できた時は達成感を得られるそうです。



## 「SDGs未来都市・環境絵日記展 2023」を開催します！

環境絵日記は、毎年市内の小学生から夏休みの宿題として、「未来の横浜」について絵と文章で表現する絵日記の形式で作品を募集しています。身近な人や家族と一緒に、未来の横浜を思いえがき、環境のために何ができるのか、どうしたら問題を解決できるのかを考え、調べ、知るきっかけになればと思い、活動を続けてきました。

昨年度で環境絵日記は22回となり、市内から5,184作品、高知県から

3,586作品、東松島市から482作品、アメリカ・サンディエゴ市の子どもたちから6作品の応募をいただきました。応募数は市内のみでも累計約26万作品になります。今年は『わたしのアイデアで世界を動かす！』～みんなでつくるSDGs未来都市～というテーマで作品を募集しました。

今年も子どもたちの作品をWeb展示場に掲載しますので、「環境絵日記」で検索して、作品をお楽しみください。

### ■SDGs未来都市・環境絵日記展 2023開催日

- 11月26日(日)・横浜市役所アトリウムにて開催される「SDGs未来都市・環境絵日記展 2023」で環境絵日記大賞および優秀特別賞の表彰式を開催予定。
- 市役所内の展示スペースにて、11月18日(土)～26日(日)まで、横浜市内の優秀賞(リサイクルデザイン賞)に選ばれた作品及び、高知県、サンディエゴ市の優秀作品の展示を予定。(※7時～23時30分までご覧いただけます。最終日11月26日(日)は16時まで)



表彰式

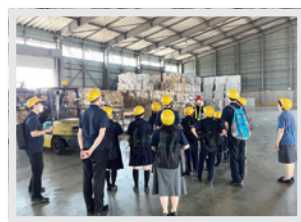
作品展示スペース



## 「リサイクルポート山ノ内見学会」「出前講師」好評受付中！

4月から受け入れを再開した「リサイクルポート山ノ内見学会」と「出前講師」ですが、9月現在で既に見学会5件、出前講師9件のお申し込みをいただいています。ようやくコロナ禍が明け、直接皆さまの表情を見ながらお話できるようになりました。

見学会も出前講師も、「分別やリサイクルについて詳しく知りたい！」という方々にお薦めのプログラムになっています。いずれもお申し込みには一部利用制限等を設けていますので、詳しい内容についてお問い合わせをいただくか、リサイクル組合のHPをご確認してください。



リサイクルポート山ノ内見学会

小学校への出前講師



リサイクル組合員のおススメ！

## うちの地元の名物紹介

### 中区伊勢佐木町 HANA 87

横浜の伝統的な繁華街として有名な伊勢佐木町商店街の歴史は、140年を超えるとされています。その商店街から少し鎌倉街道に向かったところに、組合員企業随一の紳士、杉山社長がおすすめするお店、「HANA 87」があります。横浜DeNAベイスターズをこよなく愛するオーナーのイタリアンレストラン・スポーツバーです。リサイクル組合で販売しているリユースびん飲料「あおみかんのしずく」「トマトです」「みかんです」も取り扱っていただいています。絶品のお肉料理とともに、ぜひお楽しみください。



株式会社杉山商店(横浜市南区)  
食品リサイクルをはじめ、廃棄物処理、リサイクル事業を広く手がけるリサイクル組合発起人の一社。幅広い独自のネットワークを駆使して、横浜のリサイクル事業を発展させていきたいと組合事業に参加しています。

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.recycledesign.or.jp/rd/>

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。

